

ナンバリングコード B2THB-cxxG-1N-Lg1 授業科目名 (時間割コード:000415) 主題B-4「文化と科学・技術」 How Culture Shapes Science and art 差別とマイノリティ Discrimination and Minority	科目区分 主題科目	時間割 2021年度 2Q火1	対象年次 1～
	水準 学士:基礎科目 分野 主題B	提供部局 :大教センター DPコード :cxx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	授業形態 講義 グループワーク	単位数 1	
担当教員名 小坂 有資	関連授業科目 瀬戸内国際芸術祭とマイノリティ問題		
	履修推奨科目 マイノリティのライフヒストリー、社会デザインとマイノリティ問題		
学習時間 授業90分×7回+授業45分×1回+自学自習(準備学習20時間+事後学習10時間)			
授業の概要 【キーワード】 日常の差別 デザイン思考とは、デザイナーの営みをモデルにした課題を発見・解決するための技法です。この授業では、デザイン思考のプロセスの中で重要な位置を占める「共感」に焦点をあてます。具体的には、「日常の中に潜む差別」に着目し、共感という技法を用いてマイノリティの人々が抱える問題を明らかにします。			
授業の目的 マイノリティの人々に対する差別の問題は、自分自身と関係のないものだと考えられているかもしれませんが。この授業では、自分の中にある決めつけや思い込みから距離をとる態度を身につけることによって、マイノリティの人々が抱えている問題を自分自身と関連づけて考察することを目的とします。このことは、デザイン思考との関係でいうと、共感の技法を身につけることと同様です。			
到達目標			
1. 普段意識しないような日常生活の中にある差別を発見し、説明することができる。 2. 自分自身と関連づけて日常生活の中にある差別の問題点を論じることができる(共通教育スタンダード「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。 3. 本授業のアプローチを、デザイン思考の共感の技法に関連づけることができる。			
成績評価の方法と基準 予習シート60%(到達目標の1と2に対応)、レポート40%(到達目標の2と3に対応)			
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス			
【授業計画】 第1回 ガイダンス:デザイン思考と差別問題 第2回 差別という行為 第3回 差別を考える2つの視点 第4回 他者理解とカテゴリー化 第5回 人間と序列 第6回 多様な性 第7回 障害から日常を捉え直す 第8回 振り返りとまとめ			
【授業及び学習の方法】 授業は、講義とグループワークによって構成されています。各回の授業は、主に次のような方法で行われます。講義は、第1回と第8回です。グループワークは、第2回～第7回です。第2回～第7回の授業では、LTD話し合い学習法(Learning Through Discussion)という小グループによる話し合いを中心に学習を進める技法を用います。LTD話し合い学習法の具体的な方法については、第1回のガイダンスで説明します。 この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。			
【自学自習のためのアドバイス】 第2回～第7回:教科書の指定箇所を事前に読んできて、予習シートにまとめてきてください。教科書の指定箇所や予習の仕方については、第1回のガイダンスで説明します。また、授業でのグループワークの復習(事後学習)を行ってください。この復習が、次回の準備学習やレポート作成に関連します。 第8回:レポートを作成してください。レポートの具体的な内容は、授業で説明します。			
教科書・参考書等 教科書:好井裕明(2020)『他者を感じる社会学:差別から考える』ちくまプリマー新書363.968円(税込) 参考書:西原和久・杉本学編(2021)『マイノリティ問題から考える社会学・入門:差別をこえるために』有斐閣.他にも授業中に適宜紹介します。			
オフィスアワー 水曜日12時～14時・幸町北キャンパス5号館5階			

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

教科書の購入は必須です。第1回授業の宿題（授業外学修）から教科書が必要になります。
授業はグループワークが中心なので、やむを得ない場合を除いて遅刻・欠席をしないようにしてください。